

令和4年12月定例会

一般質問通告書一覧（12月8日）

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>(4番) 浦西 敦史 (自民党) 【一括質問】</p>	<p>1 南部地域における医療人材等の確保について</p> <p>過疎・高齢化が進展する南部地域において、地域の方々が安心して健やかに暮らすためには、地域医療や保健・健康活動を担う医師、看護師、保健師など専門人材の確保・育成が重要と考えるが、市町村に対する支援を含め、県はどのように取り組んでいくのか。</p> <p>2 国内外からの誘客促進について</p> <p>(1) 「いまなら。キャンペーン2022プラス」の実施状況と、さらなる南部・東部地域への誘客促進についてどのように取り組むのか、あわせて伺いたい。</p> <p>(2) アフターコロナ時代を見据え、本県へのインバウンド誘客促進に今後どのように取り組んでいくのか。</p> <p>3 南部・東部地域の観光振興について</p> <p>(1) 紀伊半島3県の観光連携について、これまでの取組と今後の方針について伺いたい。</p> <p>(2) 大阪・関西万博を見据え、南部・東部地域の観光プロモーションにどのように取り組んでいくのか。</p> <p>4 南部・東部地域における食の振興について</p> <p>南部・東部地域の活性化に向け、県産農畜水産物を活かした美味しい食の魅力発信などにより、食の振興を図ることが重要と考えるが、県はどのように取り組んでいるのか。</p>	<p>医療政策局長</p> <p>観光局長</p> <p>観光局長</p> <p>食と農の振興 部長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(4 番) 浦西 敦史 (自民党俣)</p>	<p>5 交番・駐在所の最適化について</p> <p>地域における治安の維持・向上を図るため、交番・駐在所の更新、統廃合等による適切な人員・施設配置を早期に実現するべきと考えるが、現在の進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。</p>	<p>警察本部長</p>
 <p>(1 9 番) 阪口 保 (無所属) 【一括質問】</p>	<p>1 県内公共交通の維持・充実について</p> <p>大阪のベッドタウンとして発展してきた本県であるが、人口減少や少子高齢化が進む中、今後、公共交通による人の移動がより困難な状況になると考える。県内の公共交通の維持・充実に向け、県としてどのように取り組んでいくのか。</p> <p>2 太陽光発電設備の設置規制の条例の制定について</p> <p>3 太陽光発電事業終了後の太陽光発電パネル等の適正処分について</p> <p>耐用年数を経過した太陽光発電パネルの大量廃棄の時期を迎えるにあたり、県として太陽光発電パネル等の適正処分についてどのように考えているのか。</p> <p>4 辻町インターチェンジの整備について</p> <p>辻町インターチェンジの現在の取組状況について伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>【 要 望 】</p> <p>水循環・森林・ 景観環境部長</p> <p>県土マネジメント 部 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(19番) 阪口 保 (無所属)</p>	<p>5 一般国道168号十津川村高津法面对策工事について</p> <p>(1) 当該工事は随意契約で発注されているが、県の随意契約の締結に関する取扱基準上、不適切な契約ではないかと考えるがどうか。</p> <p>(2) 工事箇所は登記簿上、県有地ではなく工事をした事業者の所有地となっているが、なぜこのような土地に公金を投入して工事を実施したのか。</p> <p>(3) 法面对策工事で民地側を大きく排土したことにより、国道側の法面部分が不安定になり、崩落の危険性が残っているのではないかと。</p> <p>6 生駒市壺分町・東生駒大規模開発プロジェクトについて</p>	<p>県土マネジメント 部 長</p> <p>【 要 望 】</p>
 <p>(11番) 池田 慎久 (自由民主党) 【一括質問】</p>	<p>1 大阪・関西万博をきっかけに関西を訪れる観光客の奈良県への誘客戦略について</p> <p>2025年の大阪・関西万博を2年4ヶ月後に控え、県内の機運醸成に向けて、県ではどのような取組を進めているのか。また、万博を一過性のものとせず、これをきっかけとして今後関西を訪れる観光客を、どのように奈良に引き込んでいくのか。</p> <p>2 平城宮跡南側地区の公園整備について</p> <p>平城宮跡南側地区の整備計画の内容について伺いたい。また、観光客の利便性と安全性の向上のためには、北側の平城宮跡への行き来が可能な歩道橋や地下道の整備など、安全な動線確保が必要と考えるがどうか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>(26番) 山村 幸穂 (日本共産党) 【一括質問】</p>	<p>1 ゼロカーボンに向けた取組について</p> <p>(1) 県では、2050年までに二酸化炭素等の温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目指すと宣言しているが、2030年までの目標は国の目標とほぼ同じであり、より積極的な目標を掲げて県の姿勢をアピールし、県民や企業、各種団体と危機感を共有し、温室効果ガス排出削減の取組を推進すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) コロナ禍からの復興にあたり、環境に配慮した回復を目指す景気刺激策である「グリーンリカバリー」というアプローチが世界的に注目されており、わが国でも多くの企業において取り組まれているが、本県でも、このような動きを経済再生に活かすため、企業における環境に配慮した新技術の開発や、事業活動における脱炭素化の促進等への支援を進めるべきと考えており、所見を伺いたい。</p> <p>2 近鉄奈良線の移設について</p> <p>近鉄奈良線の移設にかかる踏切道改良計画について、知事は、工事に伴い広範囲に影響が生じる可能性があり、地元住民をはじめとする関係者の理解と協力を得るため、事業の内容や周辺への影響について丁寧な説明を行っていくとされたが、これまで、どのような説明を行ってきたのか。</p> <p>3 子ども医療費助成制度について</p> <p>子育て世代を応援するため、県として、子ども医療費助成制度の現物給付化と、対象年齢の高校卒業までへの引上げを行うべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>医療・介護保険 局 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(26番) 山村 幸穂 (日本共産党)</p>	<p>4 性暴力被害者サポートセンターの強化について</p> <p>性犯罪・性暴力による被害を受けた方が、いつでも、安心して相談できる体制を確保するため、今後、県では、性暴力被害者サポートセンターの強化に向けてどのように取り組んでいくのか。</p> <p>5 包括的で科学的な根拠に基づいた性教育について</p> <p>子どもを性暴力から守るとともに、お互いの性を尊重する人間関係を築けるよう、専門家や産婦人科医などの協力も得て、人権尊重やジェンダー平等、性の多様性の観点を含む包括的な性教育や、科学的な根拠に基づく発達段階に応じた性に関する正しい知識を身に付けるための性教育を進めるべきと考えるがどうか。</p>	<p>こども・女性部長</p> <p>教 育 長</p>